

令和8年度 高校1年(特進) シラバス

□科目	地理総合			
□授業時数	2時間/週			
□教材	高等学校 新地理総合(帝国書院), 新詳高等地図(帝国書院), 世界の諸地域NOW 2026(二宮書店), スタディサプリ			
□学習到達目標	<p>地理学は地球表面に記載された各地域の様々な特色や分布や人間の活動を調べると共に, 地域的・地球的な課題を様々な角度から考察することが大きな目標である。特色や分布や地域的な広がりや違いを知ることは, 現代の国際化社会やグローバル化の中で活動する上で一助となり, 社会人としての資質を養うことになる。1学期は世界の自然環境について学び, 特に日本における自然災害について考えることで, 防災に関する意識を高めることができる。2学期以降は, 現代社会における人々の動きに着目する。この現代社会が形成されるまでの過程「人間の動き(=都市の形成)」を見ていながら, 民族紛争・人口問題・環境問題等の様々な問題点を考察することで, 現代における国際理解を深めることができる。</p>			
□成績評価基準	4回の定期テストで獲得した点数および, 平常点により採点する。平常点は, 授業態度や提出物の提出状況, 授業中の討論等を対象とする。積極的な授業参加を期待する。			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 1 大地形と人々の生活 2 変動帯と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 4 河川が作る地形と人々の生活 5 海岸の地形と人々の生活 6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> 大陸移動説とプレートテクトニクス 火山と断層 世界の大地形 侵食平野 沖積平野と洪積台地 海岸地形 氷河の侵食によって形成される地形 カルスト地形 	
	5	第1部 地図でとらえる現代世界【GW休暇課題】 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図 2 身の回りの地図 3 統計地図の種類と利用 第2部 国際理解と国際協力 2節 世界の気候と人々の生活 1 気温・降水と人々の生活 2 大気大循環と人々の生活 3 世界の植生と気候区分 4 熱帯の生活 5 乾燥帯の生活 6 温帯の生活 7 亜寒帯・寒帯の生活	<ul style="list-style-type: none"> 地上の現象と地球上の位置 経度の違いと時差 球面と平面の世界 国家の領域と国境 日本の領域と領土問題 生活と気候のかかわり 熱帯の気候と人々の生活 乾燥帯の気候と人々の生活 温帯の気候と人々の生活 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 温帯の気候と人々の生活 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 	
	6	【世界の諸地域】 ○ 中国	<ul style="list-style-type: none"> 西高東低の地形 多様な気候 長い歴史と日本との関わりが深い文化 多くの民族と言語 各地で異なる農業 世界の工場となった中国 環境問題とその対策 経済格差と西部大開発 	
	7	○東南アジア 第2節 地図の役割と種類【夏期課題】 4 地理情報システム(GIS)の活用	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアの自然環境 東南アジアの歴史と民族 東南アジアの農業とその変化 工業の発展とASEAN 	定期テスト①
	9	○南アジア	<ul style="list-style-type: none"> インドとその周辺の自然環境 インド世界の歩みとヒンドゥー教 インドの産業の発展 	

令和8年度 高校1年(特進) シラバス

□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	10	○西アジア・中央アジア・北アフリカ	<ul style="list-style-type: none"> 中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境 地域の歴史とイスラームの生活 豊かな石油資源と人々の生活 	定期テスト②
	11	○ヨーロッパ・ロシア	<ul style="list-style-type: none"> 変化に富む地形 高緯度でも温暖な気候 分裂と統合の歴史 キリスト教の伝統 3つのグループに分かれる民族 EUのあゆみ 地域色豊かな農業 移り変わる鉱工業 環境にも人にも優しいまちづくり 多文化の共生と課題 ロシアの生活・文化 	
	12	<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち【冬季課題】</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境</p> <p>2節 地震・津波による災害</p> <p>3節 火山災害と防災</p> <p>4節 気象災害と防災</p> <p>5節 自然災害への備え</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形 日本の気候 地震・津波による災害 地震・津波の被災地の取り組み 火山の恵みと災害 火山と共生する地域の取り組み 様々な気象災害 気象災害への取り組み 減災の取り組み 被災地への支援 	定期テスト③
	1	○アングロアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> 東西で異なる地形 南北で大きく異なる気候 アメリカ合衆国の歴史 アメリカ合衆国の民族 多様な人々が集まる経済・文化 	
	2	○オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリアの生活・文化 一つの大陸と太平洋の島々 	
	3	<p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>1節 複雑にからみ合う地球的課題</p> <p>2節 地球環境問題</p> <p>3節 世界の資源・エネルギー問題</p> <p>4節 人口問題</p> <p>5節 食料問題</p>		定期テスト④

令和8年度 高校1年（特進） シラバス

□科目	歴史総合			
□授業時数	2時間/週			
□教材	明解 歴史総合（帝国書院），スタディサプリ			
□学習到達目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え，資料を活用しながら歴史の学び方を修得し，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察，構想することができるようにする。			
□成績評価基準	年間を通した定期テストの平均，平常点（授業態度，ノート提出，課題提出等）による総合評価			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4	第2部 近代化と私たち 5章 近代化が進む日本と東アジア	1節 新政府の誕生 2節 近代国家を目指す日本	
	5		3節 日本と清の近代化と日清戦争 4節 列強の中国進出と日露戦争 5節 日露戦争が与えた影響	※グループによる研究活動を予定
	6	第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応 2章 国際協調と大衆社会の広がり	1節 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2節 総力戦となった第一次世界大戦 3節 ロシア革命と大戦の終結 1節 ヴェルサイユ体制の成立	※グループによる研究発表を予定 教科書準拠ノート（プリント）
	7			定期テスト①
	9		2節 東アジアの民族自決の行方 4節 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5節 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6節 日本における大衆社会の形成	

令和8年度 高校1年(特進) シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10	3章 日本の行方と 第二次世界大戦	1節 世界恐慌が与えた影響 2節 ファシズムの台頭と拡大 3節 政党政治の断絶と満州事変	教科書準拠ノート (プリント) 定期テスト②
	11		4節 日中戦争の始まり 5節 第二次世界大戦の展開 6節 戦局の悪化と被害の拡大 7節 第二次世界大戦の終結とその惨禍	教科書準拠ノート (プリント)
	12		2学期の総復習	定期テスト③
	1	4章 再出発する世界と日本	1節 戦後の新たな国際秩序 2節 冷戦の始まり 3節 日本の撤退後の東アジア 4節 日本の改革と独立の回復	
	2	第4部 グローバル化と私たち 4章 再出発する世界と日本 1章 冷戦で揺れる世界 と日本 3章 グローバル化の中の 世界と日本	1節 アメリカ・ソ連の緊張と緩和 2節 冷戦下における日本の復興 1節 冷戦の終結と代わる世界構造 2節 冷戦の終結が与えた世界への影響	教科書準拠ノート (プリント) 定期テスト④
	3			

令和8年度 高校1年(特進) シラバス

□科目	公共			
□授業時数	2時間/週			
□教材	教科書:「高等学校 公共」(第一学習社) 副教材:「最新公共資料集2026」(第一学習社),「テオリー最新倫理資料集」,スタディサプリ			
□学習到達目標	幸福・正義・公正など, 人間と社会のあり方についての見方・考え方をはたらかせ, 現代の倫理, 社会, 文化, 政治, 法, 経済, 国際関係などにかかわる諸課題を追求したり, 解決したりする活動を通して, グローバル化する国際社会に主体的生きる「公民」としての資質・能力を身につけることができるようにする。			
□成績評価基準	定期テストの成績及び, ノート等の提出物, 授業内での発言, 授業態度などによる平常点によって総合的に評価する。			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4	○授業ガイダンス 第1編 公共の扉 第1章公共的な空間をつくる私たち I 公共的な空間と人間とのかかわり	○授業の展開, ノートのとり方など 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自立	
	5	第2章公共的な空間における人間としてのあり方生き方 I 人間としてのあり方生き方についての探求	3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理	
	6	II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	1 公共的な空間を形成するための考え方 2 より良く生きる行為者として活動するために (1) 古代ギリシャの思想家たち ①ソクラテス ②プラトン ③アリストテレス ④ヘレニズムの思想家	
	7		1 学期の総復習	定期テスト①
	9	第1章公共的な空間をつくる私たち II 社会に参画する自立した主体として	1 伝統や文化とのかかわり (1) 宗教とは ①キリスト教 ②イスラーム ③仏教	

令和8年度 高校1年（特進） シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	1 公共的な空間を形成するための考え方 2 より良く生きる行為者として活動するために (1) 現代に生きる先哲の考えー中国の思想 ① 儒家と墨家 孔子 墨子 孟子 荀子 ② 儒教の展開 朱子 王陽明	定期テスト②
	11		③ 道家の思想 老子 荘子 (2) 現代に生きる先哲の考えー西洋近現代の思想 ① 人間の尊厳 ルネサンス期の思想・芸術 宗教改革 モラリスト	
	12		2 学期の総復習	定期テスト③
	1	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	② 科学革命と自然観 近代科学の形成 経験論と合理論 ③ 社会契約の思想 ホッブズ ロック ルソー フランス啓蒙思想	
	2		④ ドイツ観念論 カント ヘーゲル ⑤ イギリス功利主義 アダム・スミス ベンサム ミル	定期テスト④
	3			